

Communication Design Lab.

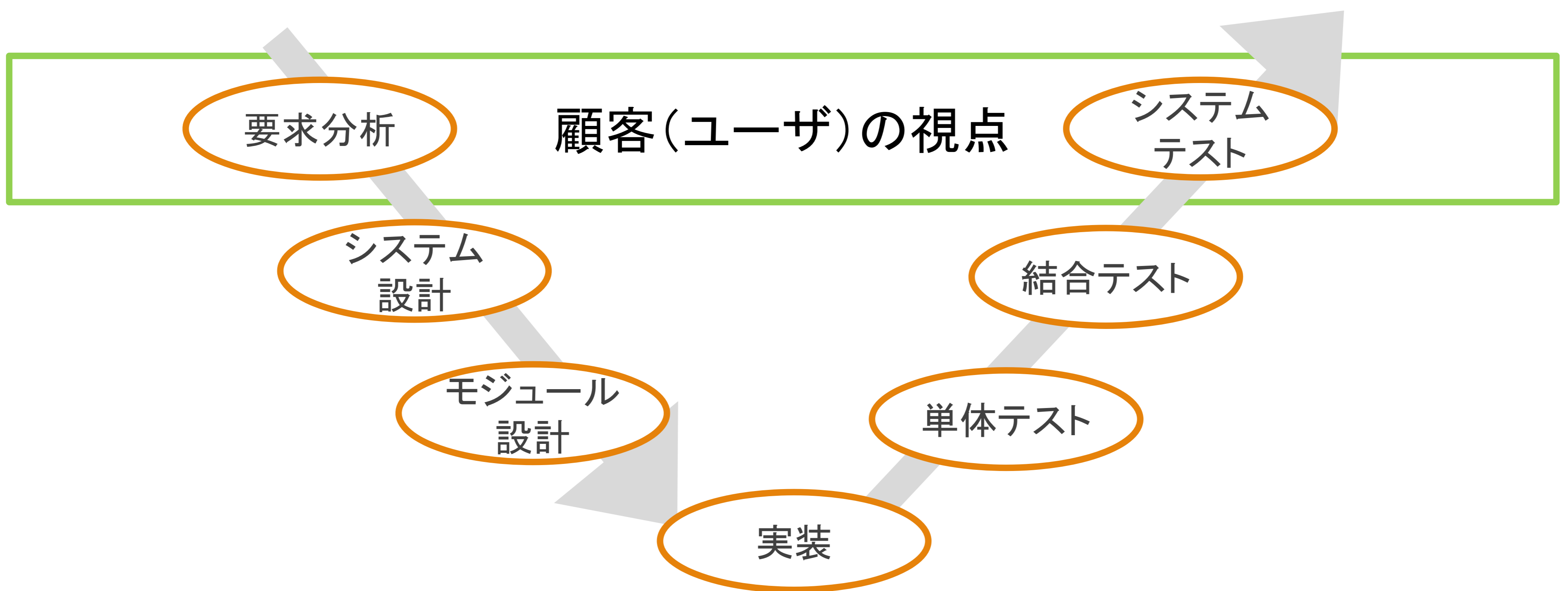
コミュニケーションデザイン研究室



研究内容

コミュニケーションデザイン研究室(中道研究室)では、人と人との**コミュニケーション**や人とコンピュータの**インタラクション(やりとり)**をセンサーやネットワークを効果的に利用して支援するシステムの構築を目指しています。

特に「使いにくいソフトウェアは使われない」と感じたソフトウェアエンジニアとしての経験から「**使いやすいソフトウェア**」を目指してソフトウェア開発の上流工程を中心に教育・研究を進めています。

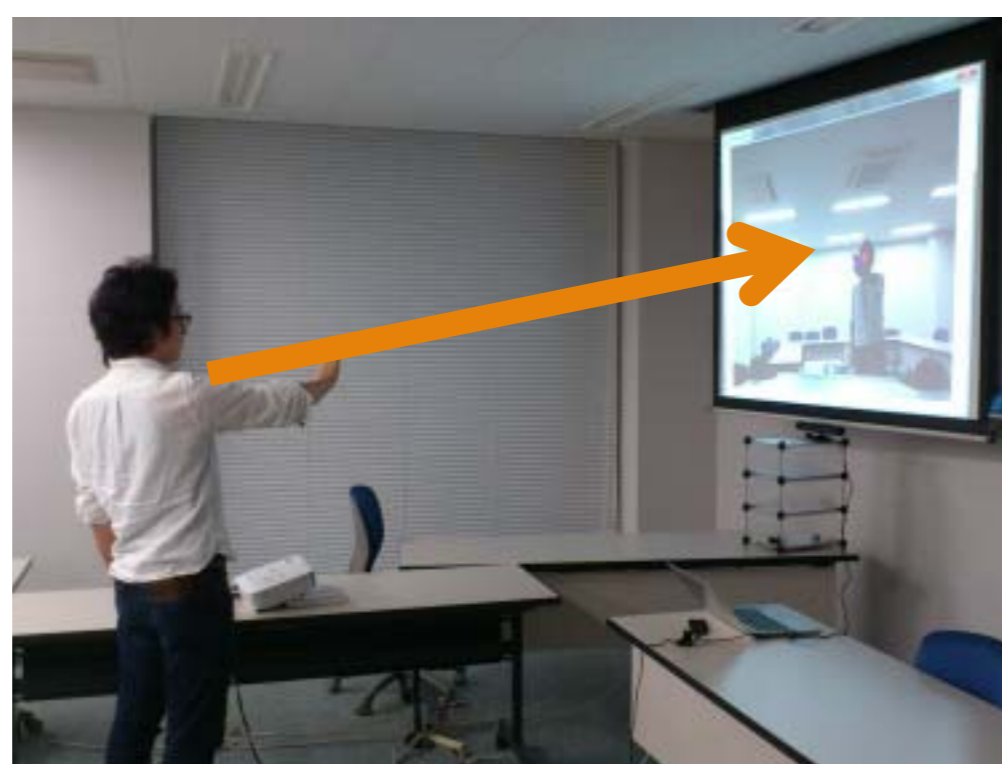


どうやって要求を明らかにする？

- 仮想ユーザ(ペルソナ)の行動分析
- UXデザインに基づく要求分析

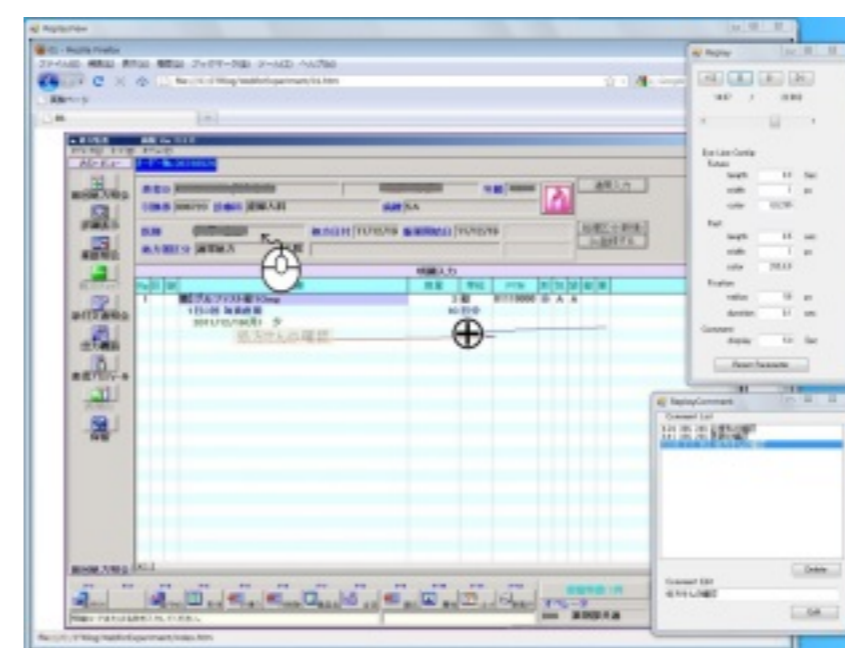
明らかになった未来への要求

- Remote Touch Pointing
- ミライノテレビ
- ARナビ操作手法, 触覚フィードバック制御



どうやって評価する？

- 視線情報を利用した画面設計評価
 - 視線移動が速くなる画面は使いにくい
 - Why: 画面のあちこちを見ているから
- 薬剤師の処方鑑査支援
 - 処方せんのチェックって大変
 - チェック時の行動からミスを見つける



担当教員 中道上 (なかみちのぼる)

- 専門分野: ソフトウェア工学, HCI(ヒューマンコンピュータインタラクション), 要求工学
- 連絡先: nakamiti@fui.fukuyama-u.ac.jp
- ひとつこと: 日常は様々な問題であふれています。改善案を考えると未来の世界が広がってきます。